

# 地域のための新たな電波有効利用セミナー（参加費無料）のお知らせ

## ～“ホワイトスペース“の活用可能性を紹介～

テレビ放送や無線通信などに割り当てられた電波の中で、地理的条件や技術的条件によって他の目的にも利用可能な周波数（ホワイトスペース）を活用したサービスやシステムの実現を目指し、制度化への反映やビジネス展開の促進を図るため、平成22年度より「ホワイトスペース特区」が創設されました。

ホワイトスペース特区に選定された地域では、実験試験局によりエリアワンセグやデジタルサイネージ（電子看板）など、特定の地域エリアに独自の映像やデータを配信する実験が行われており、特区推進により魅力あるまちづくりや地域雇用の創出などの社会的効果、経済的効果につながることが期待されています。

信州大学では、昨年4月にホワイトスペース特区に決定され、年度内にはエリアワンセグを行うための実験試験局（2局）の免許交付を受け、松本キャンパス内において、学生や教職員向けに緊急情報の配信実験等をはじめるとしています。

この新たな電波有効利用が地域活性化につながる可能性について理解を深めていただくために、ホワイトスペースの利活用推進の動向や活用事例を、地域の防災を担当する自治体、ビジネス利用を想定する商工団体や観光団体の皆さん等に広く紹介するセミナーを開催します。

### ※セミナー内容の一部変更について

エリア放送は本年4月より「エリア放送（地上一般放送局）」として制度化され、自治体、商工・観光団体等における新規参入が可能となります。この制度や手続き方法等についてご理解いただくため、下記3-(2)の講演内容を追加します。

## 1 開催日時、場所等

- 日時 平成24年**3月29日（木）** 13時15分～16時50分まで〔開場：12時30分～〕
- 場所 信州大学 人文・経済学部棟（6階建てビル）1階 第1講義室  
（長野県松本市旭3-1-1、「西門」又は「北門」からお入り下さい。）
- 募集定員 150名（参加費無料、先着順）

## 2 主催

総務省信越総合通信局、国立大学法人信州大学  
(株)テレビ松本ケーブルビジョン、信越情報通信懇談会

## 3 内容

### ◆講演〔13時15分～16時30分まで〕

#### (1) ホワイトスペース利用の推進に向けた取組みについて

講師：総務省 総合通信基盤局 電波政策課 田邊 崇 係長

※総務省が進めているホワイトスペースの概要、周波数共用方針等について説明します。

#### (2) エリア放送の制度化の概要について

講師：総務省 情報流通行政局 放送政策課 後白 一樹 係長

※エリア放送の制度概要、新規参入手続き方法等について説明します。

#### (3) 信州大学におけるホワイトスペース実験内容について

講師：信州大学総合情報センター センター長 教授 不破 泰 氏

※信州大学における、エリアワンセグによる災害情報等の配信実験の内容について説明します。

#### (4) 栗原市におけるエリアワンセグの利活用事例について

講師：栗原市企画部企画課 課長補佐 鈴木 学 氏

※栗原市（宮城県）は、ホワイトスペース先行モデル地域であり、エリアワンセグを用いて防災情報の提供等を行っており、利活用事例について説明します。

## ◆エリアワンセグのデモ〔16時30分～16時50分まで〕

講師：(株)テレビ松本ケーブルビジョン

取締役 技術部長兼通信事業部長 白鳥 忠夫 氏

ワンセグが受信可能な携帯電話等における受信設定の方法について説明し、デモ配信を受信（体験）いただきます。（ワンセグの受信機能を有する携帯電話等を持参してください。）

※デモ体験終了者より、解散とさせていただきます。

## 4 参加申込み

別添の参加申込書に必要事項を記入の上、FAX又は電子メールによりお申込み下さい。募集定員に達し次第、締め切らせていただきます。  
(電子メールの場合は、参加申込書に準じて必要事項を記載願います。)

※聴講券は発行しませんので、直接ご来場下さい。

応募者が定員を上回り、入場をお断りする場合のみ電話等により連絡を差上げます。

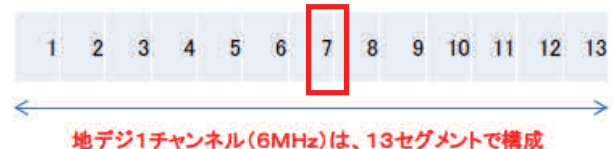
※本セミナーは、主に観光関係、情報通信関係、行政機関（観光、防災）、教育機関（学校）の方々を対象として開催しますが、一般の方の参加も歓迎します。

### ◆用語解説

#### ○ワンセグ

地上デジタル放送(UHF 13～62chのテレビ)は、1ch当たり約6MHzの周波数幅を有し、これを13セグメント(階層)に分割して伝送しています。この内、1個のセグメントのみを用いるものを**ワン(1, One)セグ**と呼んでいます。全て(13セグメント)を使用するものを、**フルセグ**と呼んでいます。

携帯電話の多くは、地上デジタル放送の**ワンセグ**受信機能を有しています。



#### ○エリアワンセグ

サービス区域を狭いエリアに限定し、独自の映像やデータを配信するワンセグのこと。  
※地上デジタル放送(テレビ)では、NHK、民放が県全域を対象としたワンセグ放送を行っていますが、**エリアワンセグは、一定の地域(〇〇競技場内、〇〇商店街等)を対象としたワンセグ方式のサービス**となります。

※活用が想定される独自情報例

観光情報、防災情報、地域コミュニティ向け情報、商店街情報など。

#### ○サービスエリア(受信可能な電波の到達範囲)

実効輻射電力10mW(=0.01W)の場合、おおむね半径500m程度です。  
(地形等の条件により多少異なります。)

## お問い合わせ先・お申込み先

信越総合通信局 無線通信部 企画調整課

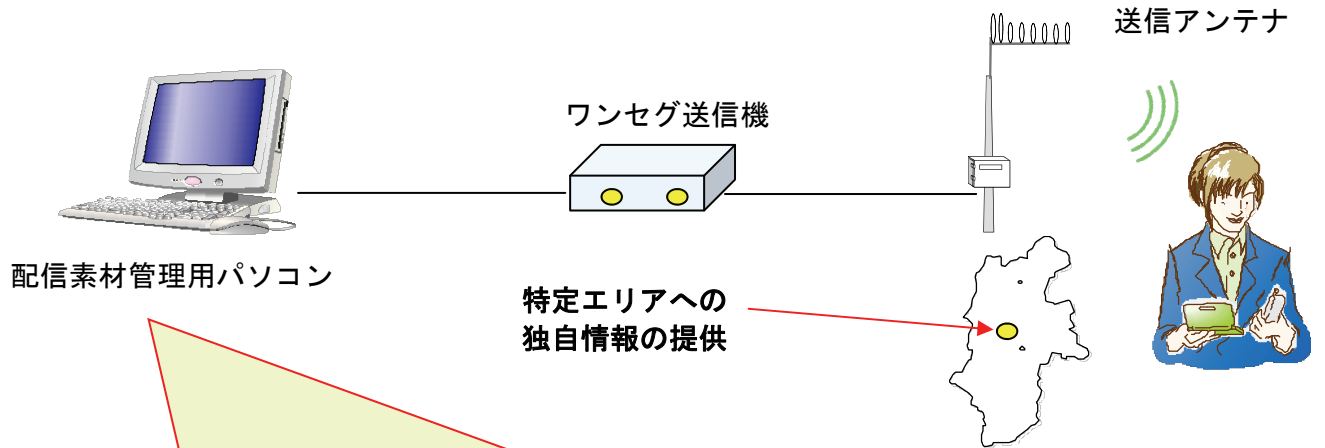
〒380-8795 長野市旭町1108

電話：026-234-9953

FAX：026-234-9947

e-mail：shinetsu-kikaku@soumu.go.jp

## ◆エリアワンセグのイメージ



### 活用が想定される独自情報（例）

○観光情報

旅行者に対して、観光スポットやイベント情報を提供



○防災、災害情報

事故発生時の緊急連絡配信



○地域コミュニティ向け情報

地域のタウン情報、行政情報、医療情報などのコミュニティ向け情報



○商店街情報

リアルタイムな広告、価格情報



## ◆信州大学におけるエリアワンセグ実験

○周波数、空中線電力

・信州大学実験 1

42Ch (647.142857MHz) 2.5 mW

・信州大学実験 2

42Ch (647.142857MHz) 10 mW

○サービスエリア（送信場所）

信州大学 松本キャンパス



緊急情報だ。



※各写真はイメージです。

UNIVERSITY 信州大学 SHINSHU UNIVERSITY

信州大学緊急放送チャンネル

災害対策本部を設置、学生は身の回りの

学内避難所	被害・危険箇所
教職員向け	信大WEBサイト

⇒ 信州災害・緊急ダイヤル(24時間)

信州大学 SHINSHU UNIVERSITY

UNIVERSITY 信州大学 SHINSHU UNIVERSITY

信州大学緊急放送チャンネル

・本部管理棟に災害対策本部を設置しました

・各班長・副班長は、ただちに災害対策本部へ集合してください。

・施設管理班構成員は至急被害状況を集約してください。

⇒ 信州災害・緊急ダイヤル(24時間)

戻る 信州大学 SHINSHU UNIVERSITY



## ■会場案内図（周辺図）



### ■JR松本駅（お城口）下車

- ・ 駅前バスターミナル1番線から「信大横田循環線」バスにて「大学西門」下車（約15分）
- ・ 松本駅からタクシーで約10分

### ■中央自動車道 松本ICより車で約20分

### ○駐車場

信州大学構内には駐車できませんので、付近の有料駐車場をご利用願います。

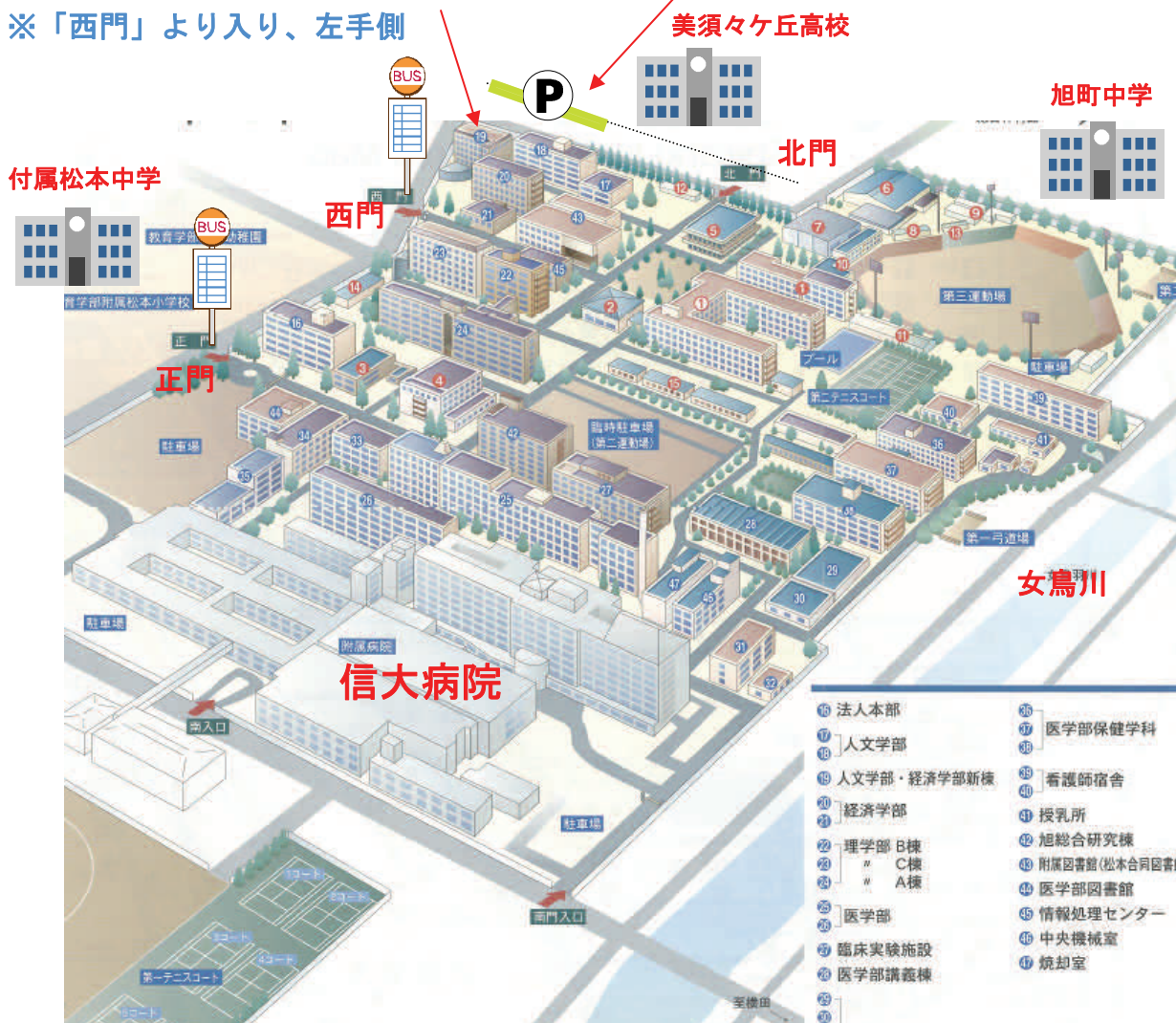
### 松本市営美須々ヶ丘駐車場

（美須々ヶ丘高校前の路上近く。87台駐車可）

## ■拡大図

### 人文・経済学部棟（6階建てビル）1階

※「西門」より入り、左手側



地域のための新たな電波有効利用セミナー  
参加申込書（FAX用）

信越総合通信局 企画調整課 行

FAX 026-234-9947

e-mail shinetsu-kikaku@soumu.go.jp

団体名	
申込者氏名、連絡先	氏名  電話番号
参加人数	人 ※申込み者本人を含みます。

※個人情報の取扱いについて

お申込みいただいた個人情報の管理については、細心の注意を払うとともに、次の目的以外には使用しません。

- ・申込みをされた方の人数把握
- ・自然災害等によるセミナーの中止のお知らせ、申し込まれた方への必要な連絡
- ・申込みが定員に達し、入場をお断りする場合

※電子メールの場合は、参加申込書に準じて必要事項を記載願います。  
(罫線等の記載は不要です。)